

連続勉強会 災害とジェンダー

災害時の母子支援

2024年11月22日（金）13:30～16:30（13:15 開場）

場所：シズウェル 101 会議室

オンライン（ZOOM）参加も受け付けますが、機材が十分でないため補助的とお考え下さい。

対象：自治体職員、母子・子育て支援者、関心のある方

参加費：無料

申込：<https://1122shizuoka.peatix.com>

申込者に期間限定で2週間のアーカイブ配信をする予定です。

主催：静岡大学ジェンダー研究所

問い合わせ：白井千晶（静岡大学）（shirai.chiaki@shizuoka.ac.jp）



プログラム

13:15 開場

13:30 開会

13:30 開会のご挨拶（静岡県危機管理部危機情報課長）

13:35 「ジェンダー視点での防災：静岡県における妊産婦と母子の避難所と防災」白井千晶さん（静岡大学）

13:50 「災害時に母子を支えるために：フェーズフリーの母子支援」吉田穂波さん（神奈川県立保健福祉大学）

14:30 「避難所運営調査結果と静岡県における課題」池田恵子さん（静岡大学）

15:00 「富士市母子避難所協定の経緯と今後の課題」早川育子さん（静岡県議員）

「静岡県内の母子避難所協定の現状と今後の課題」伊藤和代さん（静岡県助産師会会長）、富岡ほなみさん（同志太助産師会会長）、草野恵子さん（静岡県助産師会元会長）

15:30 「子育て防災の現状と今後の課題」原田博子さん（しずおか子育て防災ネットワーク代表）、塩川祐子さん（同副代表）

16:00 地域別・他業種グループワーク

16:25 グループワーク結果共有

16:30 閉会

本勉強会は静岡大学学長裁量経費により実施しています。

登壇者紹介

しずおか子育て防災ネットワーク

静岡県内外の被災地域のニーズを把握後、非被災地エリアが支援活動を展開すること、平時に子育てと防災に関するネットワークづくりをすること、備災や減災に関する情報発信することを目的にしたネットワーク。現在34団体が会員。代表：原田博子さん（はままつ子育てネットワークぴっぴ）、副代表：塩川祐子

さん（母力向上委員会）ほか。

<https://shizuokakosodatebo.wixsite.com/network>

静岡県助産師会

静岡県助産師会内に災害対策委員会を設置。2024年8月現在、県内22市町と「災害時母子支援協定締結」を締結。県助産師会会長：伊藤和代さん（和助産院）、志太助産師会会長：

富岡ほなみさん（とみおか母乳ケア house）、
元県助産師会会長：草野恵子さん（くさの助
産院）

<https://www.midwife-shizuoka.or.jp/>

早川育子さん

静岡県議員

吉田穂波さん

神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノ
ベーション研究科 教授。共著に『あかちゃん
とママを守る防災ノート』。「大規模災害後の
災害弱者の孤立化防止のための避難フェーズ別
効果的介入モデルの開発」「新型コロナウイルス
対策に配慮した災害時の避難母子支援シス
テム構築に向けた課題解明」（科研）等。「災害
時母子シェルターマップ Giftfor」
（2023）：<https://giftfor.life/>

白井千晶さん

静岡大学人文社会科学部教授。静岡大学ジェ
ンダー研究所所長。専門は家族社会学、医療
社会学。『性暴力サバイバーが出産するとき～
子どもの頃に性的虐待を受けた女性が出産す
るときに起こることの理解と癒し』『性的虐待
を受けた性暴力サバイバーの妊娠出産期の支
援～助産師、ドゥーラ、その他の医療従事者
のためのガイド～』監訳

池田恵子さん

静岡大学グローバル共創科学部教授。静岡大
学ジェンダー研究所研究員。専門はジェンダ
ー論。「ジェンダー・多様性の視点による防災・
災害対応政策：自治体への導入過程の研究」
（科研）。

連続勉強会 災害とジェンダー

災害時の性暴力（1）

2024年11月23日（土）13:30～16:30（13:15 開場）

場所：あざれあ第3会議室

オンライン（ZOOM）参加も受け付けますが、機材が十分でないため補助的とお考え下さい。

対象：自治体職員、性暴力被害支援者、関心のある方

参加費：無料

申込：<https://1123shizuoka.peatix.com>

申込者に期間限定で2週間アーカイブ配信をする予定です。

主催：静岡大学ジェンダー研究所

問い合わせ：白井千晶（静岡大学）（shirai.chiaki@shizuoka.ac.jp）

本勉強会は静岡大学学長裁量経費により実施しています。



プログラム

13:30 開会 趣旨とプログラム説明

13:35 「ジェンダー視点の防災の必要性について」（白井千晶さん）

13:40 「災害・パンデミックにおける性暴力被害と対応：性暴力対応看護師 SANE を含む対応
チーム SART」（長江美代子さん）

15:20 「災害時の性暴力に関する情報提供と教材」（池田恵子さん）

16:00 他業種グループワーク・結果共有

16:30 閉会

登壇者紹介

長江美代子さん

専門はフォレンジック看護学、性暴力被害、トラウマケア、ジェンダー・ウィメンズ・スタディ。日本フォレンジックヒューマンケアセンター副会長。「性暴力救援センター日赤なごや なごみ」開設メンバー。『災害と性暴力性被害をなかったことにしない、させないために。』分担執筆。一般社団法人メリデン・ジャパン-ファミリーワークプロジェクト理事

の元理事でトレーナー。

池田恵子さん

静岡大学グローバル共創科学部教授。静岡大学ジェンダー研究所研究員。

白井千晶さん

静岡大学人文社会科学部教授。静岡大学ジェンダー研究所所長。

連続勉強会 災害とジェンダー

災害時の性暴力（2）

2025年2月2日（日）13:30～16:30（13:15 開場）

場所：シズウェル 101 会議室

オンライン（ZOOM）参加も受け付けますが、機材が十分でないため補助的とお考え下さい。

対象：自治体職員、性暴力被害支援者、関心のある方

参加費：無料

申込：<https://0202shizuoka.peatix.com>

申込者に期間限定で2週間アーカイブ配信をする予定です。

主催：静岡大学ジェンダー研究所

問い合わせ：白井千晶（静岡大学）（shirai.chiaki@shizuoka.ac.jp）

本勉強会は静岡大学学長裁量経費により実施しています。



プログラム

13:30 開会 趣旨とプログラム説明

13:35 「ジェンダー視点の防災の必要性について」（白井千晶さん）

13:40 「災害時の性暴力の実態と防止と対応」（正井禮子さん）

15:20 池田恵子「静岡でこれから必要なこと」（池田恵子さん）

16:00 他業種グループワーク

16:30 閉会

登壇者紹介

正井禮子さん

ウィメンズネット・こうべ代表。『被災地における性暴力～防止と対応のためのマニュアル～』。2011年に東日本大震災女性支援ネットワークを発足し「災害時における女性と子どもへの暴力」被害の調査を実施。『わたしは黙らない：性暴力をなくす30の視点』に「災

害時の性暴力」を執筆。

池田恵子さん

静岡大学グローバル共創科学部教授。静岡大学ジェンダー研究所研究員。

白井千晶さん

静岡大学人文社会科学部教授。静岡大学ジェンダー研究所所長。

静岡大学人文社会科学部 リカレント講座 困難な問題を抱える女性への支援

日時：2025年1月26日 13:30～17:15 (13:15 開場)

場所：パルシェ会議室（第1会議室） オンライン同時配信あり

対象：女性支援者、関心のある方

参加費：静岡大学学生・教職員無料、一般 3000 円

申込：広報第二版・大学ホームページでご連絡します 55名（先着順）

ZOOMによるオンライン参加が可能です。アーカイブ配信はございません。

主催：静岡大学人文社会科学部

コーディネーター：白井千晶（静岡大学人文社会科学部）

プログラム

13:30 開会の挨拶

13:35 「困難な問題を抱える女性への支援」（白井千晶さん）

13:45 「困難な問題を抱える女性の現状とアウトリーチ支援」（渡邊美代子さん）

14:45 「困難な問題を抱える女性のリカバリー支援」（大嶋栄子さん）

15:45 休憩

15:55 「困難な問題を抱える女性の静岡の現状と居住・就労・食料支援」（鈴木和樹さん）

16:55 鼎談「女性への支援のこれから」

17:10 閉会の挨拶

登壇者紹介

渡邊美代子さん

一般社団法人コットン맘代表。家庭裁判所、検察庁、拘置所、刑務所、少年院、保護観察所などからの相談を受けて触法の青少年支援をおこなう。精神保健福祉士、相談支援専門員。触法少年の支援のほか、東京・歌舞伎町、千葉などで夜回り相談員をしている。

大嶋栄子さん

NPO 法人リカバリー代表。精神保健福祉士。さまざまな被害体験を背景に病気や障害に苦しむ女性への援助をおこなう。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員。主著に『生き延びるためのアディクション：嵐の後を生きる「彼女たち」へのソーシャルワーク』など。

鈴木和樹さん

NPO 法人 POPOLO 事務局長、NPO 法人フー

ドバンクふじのくに事務局次長。POPOLO では生活・就労相談支援、食料支援のほか、一時生活支援事業をおこなっている。静岡大学人文社会科学部卒業。

白井千晶さん

静岡大学人文社会科学部教授。静岡大学ジェンダー研究所所長。本リカレント講座のコーディネーターを務める。専門は家族社会学、医療社会学。『性暴力サバイバーが出産するとき～子どもの頃に性的虐待を受けた女性が出産するとき～』『性的虐待を受けた性暴力サバイバーの妊娠出産期の支援～助産師、ドゥーラ、その他の医療従事者のためのガイド～』監訳